

2013 年 3 月 29 日
株式会社みずほコーポレート銀行

鹿児島メガソーラー発電株式会社向け プロジェクトファイナンス組成について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、京セラ株式会社（以下京セラ）がメインスポンサーとして鹿児島県鹿児島市で行う「鹿児島七ツ島メガソーラー発電事業」向けに、リードアレンジャー（主幹事）として、国内最大級のメガソーラー向け・プロジェクトファイナンスによるシンジケートローン（契約金額：約 234 億円）をこのたび組成しました。

シンジケートローンには、リードアレンジャーである当行のほか、コ・アレンジャーである株式会社鹿児島銀行、株式会社京都銀行、東京センチュリーリース株式会社、及び九州域内の地域金融機関が参加し、当行がエージェント（事務幹事）を務めます。

本事業は、株式会社 IHI（以下 IHI）の所有地（土地面積約 127 万㎡）における、発電能力 70MW、総投資額約 270 億円の大規模太陽光発電事業です。京セラ、KDDI 株式会社、IHI、株式会社九電工、株式会社鹿児島銀行、株式会社京都銀行、株式会社竹中工務店が出資する特別目的会社が発電事業を行います。

当行は、太陽電池事業で長年培った経験を有する京セラと、再生可能エネルギーの普及促進に積極的に取り組む IHI とともに、昨年 4 月の三者による基本合意以降、プロジェクトファイナンスの知見を活用し本事業の立上げをサポートしてきました。

〈みずほ〉は、今後とも我が国エネルギー政策における再生可能エネルギー分野の重要性を強く認識し、環境ビジネスへの取り組みを積極的に推進するとともに、成長産業・企業への積極的なリスクテイク能力の強化に努めていきます。

以上